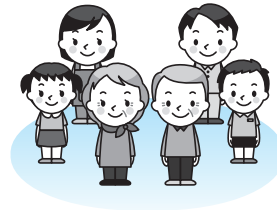


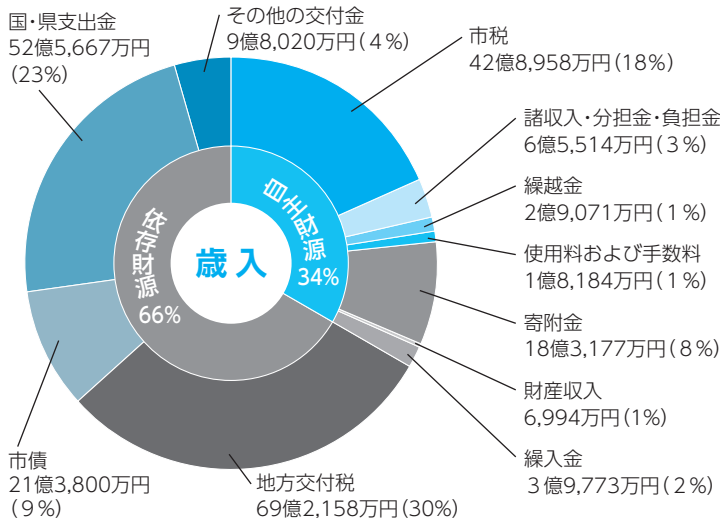
決算報告

平成29年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算をもとに家計に例えてみましたので、一緒に見ていきましょう。



普通会計 歳入の内訳

歳入総額 230億1,315万円



小城家の家計簿

市の普通会計の決算を家計に置き換えました。1カ月分の家計の収入と支出を、市民1人当たりの金額に置き換えると次のようになります。

平成30年3月31日 住民基本台帳人口 45,212人

小城家の1カ月の収入の内訳

収入	金額 (円)	増減率 (%)
給料 (市税)	94,877	1.8% ↑
親からの援助 (国・県支出金など)	291,039	5.9% ↑
雑収入 (諸収入・寄附金など)	60,574	5.6% ↑
貯金の取崩し (繰入金)	8,797	272.3% ↑
前月からの繰越金 (繰越金)	6,430	3.7% ↑
新たな借入金 (地方債)	47,288	42.0% ↑
合計	509,005	

市の平成29年度普通会計決算額を1カ月の家計に例えてみると、小城家の1カ月の収入は50万9千円となっています。収入では、主に、親からの援助や雑収入 (寄附金) や新たな借入金が増えています。これは、寄附金 (ふるさと応援寄附金) が増えたことや家の増改築 (西九州大学誘致や市営住宅建替えなど) を行ったことなどによ

り、親からの援助 (国・県支出金) や新たな借入金 (地方債) が増えています。支出では、主に、医療費・教育費等 (扶助費) や光熱水費 消耗品等 (物件費) や家の増改築費用 (投資的経費) などが増えました。これは、障がい者や高齢者に対する支援費用、寄附金に対するお礼の品が増えたこと、家の増改築 (西九州大学

誘致や市営住宅建替えなど) によるものです。一方で、ローンの返済 (公債費) や子どもへの仕送り (繰出金) などは減りました。これは、ローンの完済や繰上げ返済 (繰上償還) をしたり、子どもへの仕送り (国民健康保険事業や下水道事業の別会計への支出) が減ったことによるものです。

を翌月へ繰り越します。

用語説明

《歳入》

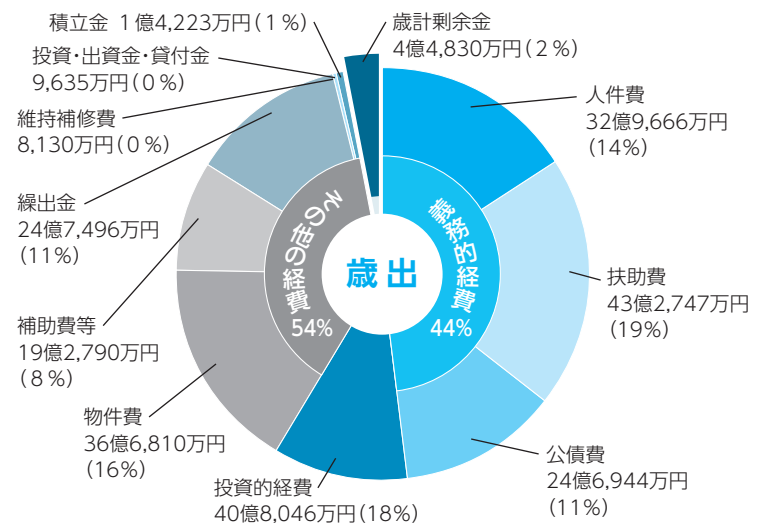
市 税	市民税や固定資産税などに市に納められたお金
諸収入・分担金・負担金	貸付金の返済や特定の事業に対し利益を得た者からもらうお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
使用料・手数料	公営住宅の家賃や住民票の発行などで納められたお金
寄附金	ふるさと応援寄附金などの寄附金
財産収入	市が持っている建物や土地の貸付などで入ってきたお金
繰入金	基金などから繰り入れたお金
地方交付税	国税（所得税、法人税、酒税など）の一部から一定の割合の金額を配分されたお金
地方債	資金調達のために借入れた借金
国・県支出金	市が行う特定の事業に対して国や県から交付されたお金
自主財源	市が自ら調達できる収入
依存財源	国や県の決定や割り当てによって交付される収入。市独自で収入額を決められない

《歳出》

人件費	職員給与や議員報酬などのお金
扶助費	生活保護費、児童手当、障がい者への支援に使われたお金
公債費	これまで借入れたお金の返済に使われたお金
投資的経費	建物や道路などのインフラ整備に使うお金
物件費	業務を行う上で必要な事務費
補助費等	各団体などへの補助金や負担金
繰出金	特別会計などに繰り出すお金
維持補修費	市が管理する施設や道路を維持・補修するお金
投資・出資金・貸付金	市が財産を有効に運用するためのお金
積立金	基金へ積み立てたお金
歳計剰余金	歳入総額から歳出総額を差し引いたお金 ※歳出総額には、歳計剰余金は入りません

普通会計 歳出の内訳

歳出総額 225億6,485万円



※歳計剰余金とは、歳入総額－歳出総額の合計です。
歳出総額には、歳計剰余金は入りません

各会計の決算収支

平成29年度会計別決算

会計名	歳入決算額(収入)	歳出決算額(支出)	
普通会計	一般会計	230億1,456万円	225億6,626万円
	授産場特別会計	2,292万円	2,292万円
	小計	230億3,748万円	225億8,918万円
特別会計	簡易水道特別会計	741万円	564万円
	下水道特別会計	22億7,011万円	21億9,989万円
	国民健康保険特別会計	57億3,357万円	57億1,470万円
	後期高齢者医療特別会計	5億2,194万円	5億1,367万円
	小計	85億3,303万円	84億3,390万円
合計	315億7,051万円	310億2,308万円	
公営企業会計	病院事業会計	13億4,654万円	13億2,522万円
	水道事業会計	6億169万円	3億3,831万円

※平成29年度決算報告（普通会計）のグラフと上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間のやり取り（繰入繰出）がなかったものとして相殺処理をしているためです。

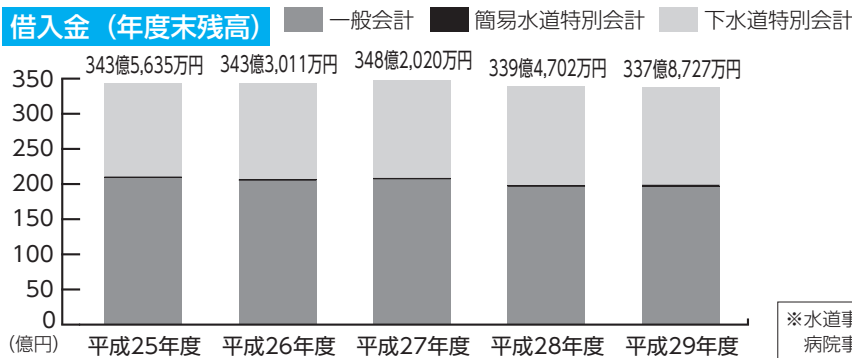
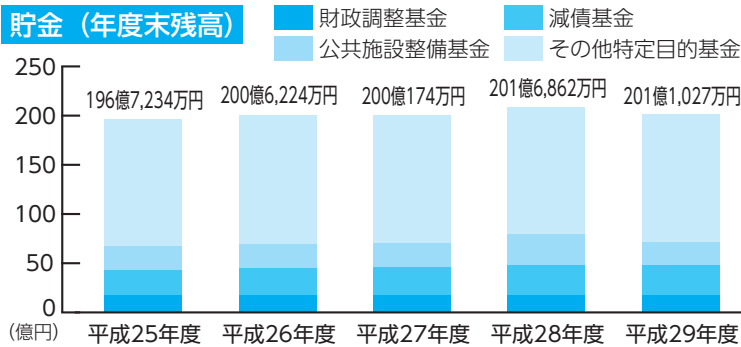
小城家の1カ月の支出の内訳

	支出	増減率
食費（人件費）	72,916	1.8% ↓
医療費、教育費等（扶助費）	95,715	3.4% ↑
ローンの返済（公債費）	54,619	6.7% ↓
光熱水費・消耗品等（物件費）	81,131	4.1% ↑
自治会費、クラブ会費等（補助費など）	42,641	7.4% ↑
子どもへの仕送り（繰出金）	54,741	3.2% ↓
家の修繕費（維持補修費）	1,798	12.5% ↓
友達へ貸したお金（投資・出資金・貸付金）	2,131	15.8% ↓
貯金（積立金）	3,146	275.9% ↑
家の増改築費用（投資的経費）	90,252	83.2% ↑
合計	499,090	

(収入) - (支出) の9,915円



小城市の貯金と借入金（5年分）



市の貯金は、201億1,027万円となり、前年度より5,835万円減少しました。また、借入金は前年度より1億5,975万円減り337億8,727万円となりました。

今後も一般会計では、広域清掃センターの建設や義務教育施設の改修などを計画しています。下水道事業についても、平成42年までの整備を計画しています。こうしたことから、市の貯金は今後減少していきます。



循環型社会の形成

環境課

政策1 天山地区共同環境組合事業（建設）
1億6,577万5千円

可燃ごみ焼却施設の建設、維持管理および施設の運営を多久市と共同で行うため、これに必要な費用を負担しました。

政策2 安全に みんなが行き交うまち

建設課

道路の保全と交通網の充実

スマートインターチェンジ整備事業
3億3,165万5千円

市の産業振興をはじめ、災害時の広域支援体制の向上など地域を活性化するため、長崎自動車道小城PAにスマートインターチェンジを整備しました。

道路新設改良事業
3,232万8千円

一般車両、歩行者等の安全性と利便性を確保するために、道路改良工事を行いました。

政策4 みんなが健やかで 生きがいを感じるまち

健康増進課

保健・医療の充実

胃がん検診事業
735万7千円

胃がんを早期発見し、早期治療に結びつけるため総合健診（集団）での胃透視検査を実施しました。また、平成29年度から、小城・多久市内の8医療機関で胃内視鏡検査を受診できるようにしました。

平成29年度に実施した主な事業を紹介します

都市計画課

政策1 住みたい！と思う 笑顔が集まるキレイなまち

計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり

大学誘致促進事業
7億5,650万5千円

市内の賑わいの創出と地域の活性化のため、西九州大学看護学部を誘致し、施設整備とまちづくり活動に対し補助金を交付しました。

空家等対策推進事業
460万7千円

市民の安全で安心な暮らしの実現および良好な生活環境を保全し、活力あるまちづくりを推進するため、空家等の適切な管理および空家等の活用などを促進しました。また、小城市空家等対策計画の策定や空き家の改修に対し補助金を交付しました。

定住推進課

移住・定住対策事業
5,436万4千円

人口減少対策や地域活性化のため、市の魅力のPRや移住・定住者に対し奨励金を交付しました。

市営住宅建替事業
8億777万円

耐用年限を経過しているなどの課題のあった市営住宅について、牛津駅南地区に鉄筋コンクリート造、4階建ての市営住宅2号棟の建設を行いました。



指標からみる財政状況

	平成29年度	平成28年度
経常収支比率 財政の弾力性 (ゆとり)の指標	92.2%	88.8%
実質公債費比率 借金返済の割合	4.7%	4.9%
財政力指数 自前の財源の割合 (3カ年平均)	0.41	0.41
市税徴収率 (現年課税分)	99.3%	99.1%

【経常収支比率】

使途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税などの毎年収入される性質のもの）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの）の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

【実質公債費比率】

借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもので、一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率です。

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。

保育幼稚園課

保育園民営化事業 444万7千円

「小城市立保育園・幼稚園の再編計画」に基づき、平成30年4月開所に向けて岩松保育園の民営化を行いました。

政策7 地域の資源を活かし 企業も市民も元気なまち

農林業の振興

農林水産課

強い農業づくり交付金事業 6億36万2千円

小城・牛津地区共同乾燥施設（カントリー）の再編新築工事に対し、補助金を交付しました。

農村整備課

基盤整備促進事業 7,996万2千円

農業基盤整備促進事業 7,515万6千円

農業競争力を強化するため、^{あんきょ}暗渠排水整備や水路整備などを行いました。

政策10 ひとりひとりの力を合わせて防犯・防災 安心して暮らせるまち

防災・減災体制の充実

防災対策課

避難所看板設置事業 341万円

災害発生時に速やかに避難できるよう、指定避難所に避難所表示看板を設置しました。

農村整備課

ため池耐震性調査事業 2,088万3千円

防災重点ため池の9池のうち、4池の耐震性の調査と1池のハザードマップの作成を行いました。

政策5 みんなでささえあう やさしいまち

高齢者福祉・介護の充実

高齢障がい支援課

地域包括支援センター運営事業 63万5千円

高齢者の増加および地域包括支援センター機能の充実・強化のため、市が運営する新たな地域包括支援センターを開設する準備を行いました。

政策6 子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち

子育て支援の充実

教育総務課

放課後児童健全育成事業 1億2,904万2千円

保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に遊びや生活の場を提供しました。また、開始時間の繰り上げと利用対象を小学6年生までに拡大しました。

社会福祉課

子育てワンストップサービス支援事業 107万4千円

マイナンバー制度を活用した子育て関連サービスの手続き軽減化に対応するため、国が整備するマイナポータルとの接続環境整備を行いました。

子どもの医療費助成事業 1億6,508万9千円

0歳から中学生を対象に、医療費の助成を行いました。また、助成方法を一部変更して、手続の簡素化を行いました。